

IAEA との共催で原子力安全に関する講師育成研修を開催しました

平成 29 年 9 月 11 日から 15 日にかけて、国際原子力機関 (IAEA)、福井県およびエネ研の共催で、「原子力安全のリーダーシップに関するアジア原子力安全ネットワーク (ANSN) 講師育成研修」を開催しました。この研修は、IAEA と福井県が平成 25 年に結んだ原子力人材育成に関する覚書に基づき毎年開催しており、アジアを中心とする世界の原子力安全に関わる講師人材の育成への貢献や、人的ネットワークの形成を目的としています。

今回は、アジア 7 か国 (バングラデシュ、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム) から、原子力規制当局や研究機関に所属する 12 名が参加しました。

研修生は、原子力安全のためのリーダーシップをテーマに、IAEA の外部専門家や国内の専門家による講義を受講し、討論を行ったほか、各自が自国の状況についてプレゼンテーションを行いました。さらに、日本原子力発電敦賀発電所、オフサイトセンターおよび福井県原子力環境監視センターの見学を通して、原子力関連の様々な施設が立地する福井県の状況について学びました。

研修生からは、「講義や討論会、施設見学を通して、原子力の安全確保のためのリーダーシップとマネジメントにより強い興味を持ち、知識を深めることができた。」「最新の IAEA の安全基準のほか、福島第一原子力発電所事故後の対応や課題など、様々なことについて学ぶことができた。ここで学んだことを母国の原子力関係者と共有し、人材育成に役立てたい。」との声がありました。



開講式



講義



敦賀発電所見学

平成 29 年度「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」(2 次募集) の採択を決定

エネ研では、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づく産業の創出・育成の一環として、「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」を交付しています(「基礎研究枠」と「実用化研究枠」があります)。今年度は、1 次募集で 5 件のテーマを採択後、7 月 28 日から 8 月 28 日にかけて 2 次募集を行いました。

応募のありました以下の 3 件について、9 月 12 日に審査委員会を開催し、これらを「実用化研究枠」(補助率 2/3、補助限度額 600 万円、補助期間最長 3 カ年)として採択しました。今後、採択された企業からの補助金交付申請書の提出を受けて交付決定を行う予定です。

	テーマ名	代表企業名 (五十音順)
1	多機能を備えた大気腐食モニタリング微小電流計測記録装置実現に向けた研究	植田工業 (株)
2	自動洗浄機能を付加した安価な新型雨水貯留タンクの開発	(株) 日盛興産
3	原子炉格納容器内で使用する塗装用塗料の SA 時健全性確認試験の研究開発	若狭技研工業 (株)

科学機器紹介【高分子結合状態解析システム（XPS）】

エネ研には53種類の科学機器が設置されており、県内外の大学・企業の方に低料金でご利用いただいています。今回は、「高分子結合状態解析システム」(X線光電子分光分析装置：XPS)を紹介いたします。

物質の表面にX線を当てると、電子が飛び出す「光電効果」とよばれる現象が起こります。飛び出した電子は元素ごとに固有のエネルギーを持っていますが、物質の化学結合状態（元素が他の元素とどのように結合しているか）によってわずかにエネルギーが変化します。この装置では、飛び出した電子のエネルギーを測定することで、物質表面の組成や化学結合状態を調べることができます。

そのため、この装置はその汎用性と情報量の多さにより、表面分析に欠かせないものとして、金属・半導体・ガラス・高分子化合物・ハイテク材料等の研究開発や量産工場での品質管理など、非常に広い範囲で利用されています。

今回ご紹介したXPSなど科学機器のご利用・ご相談については、技術相談室（TEL：0770-24-7273、E-mail：soudan@werc.or.jp）までお問合せください。

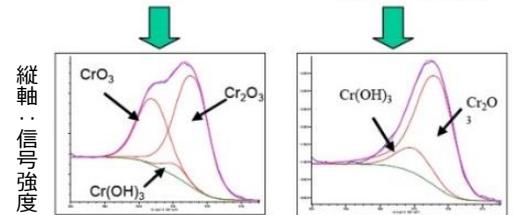


装置の概観



有色クロメート：ネジ

光沢クロメート：ワッシャー



縦軸：信号強度

横軸：エネルギー

<分析事例> クロメート金属2種中の3価・6価クロムの分析
(上図中、CrO₃のみ6価)

第19回 エネ研研究報告会を開催します

エネ研は、研究活動を広く理解していただくため、今年度も研究報告会を開催します。

今回は、光産業創成大学院大学の加藤学長が「光技術・経営融合による起業、第二創業」というテーマで、また、東京工業大学の松本准教授が「医学、生命科学における放射線利用の現状と可能性」というテーマで招待講演をされますので、ぜひご参加ください。

なお、先着100名の方に粗品を進呈いたします。

詳細については、エネ研ホームページ（<http://www.werc.or.jp/>）をご覧ください。企画支援広報部（TEL：0770-24-7273）までお問合せください。

（日 時）平成29年10月31日（火）13:30～17:00

（場 所）福井市文京3丁目9-1

福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I
13階会議室

（参加費）無料

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

第19回 研究報告会

共催：国立大学法人福井大学

2017.10.31(火) 13:30▶17:00

福井大学 文京キャンパス
総合研究棟 I 13階会議室
福井市文京3-9-1
JR 福井駅から えちぜん鉄道またはバスにて約10分

参加費無料
ご参加いただいた方に粗品を進呈いたします
(先着100名様)

13:30～13:40	開会挨拶 若狭湾エネルギー研究センター 理事長 旭 信昭 福井大学 学長 眞弓 光文
13:40～14:05 招待講演	医学、生命科学における放射線利用の現状と可能性 東京工業大学 科学技術創成研究院 先端原子力研究所 准教授 松本 義久
14:05～14:30	陽子線による細胞へのダメージ評価による照射線量の適正化研究 粒子線医療研究グループ 主査研究員 前田 宗利
14:30～14:55	イシクラグ変異株を利用した有用物質の生産 生物資源研究室 主幹研究員 田中 良和
14:55～15:25	休憩・ポスターセッション
15:25～15:50	新磁性材料を用いた光ビーム走査ミラーの実現とレーザ投影装置への応用 福井大学 産学官連携本部 客員教授 勝山 俊夫
15:50～16:15	ポリイミド系高分子ファイバーの開発 生物資源研究室 主任研究員 畑下 昌範
16:15～16:40 招待講演	光技術・経営融合による起業、第二創業 光産業創成大学院大学 学長 加藤 義章
16:40～16:50	総括質疑応答
16:50～17:00	閉会挨拶 若狭湾エネルギー研究センター 所長 中嶋 英雄

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。本誌の記事に取り上げる場合もあります。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail：kikakushien@werc.or.jp TEL：0770-24-7270 FAX：0770-24-7275

